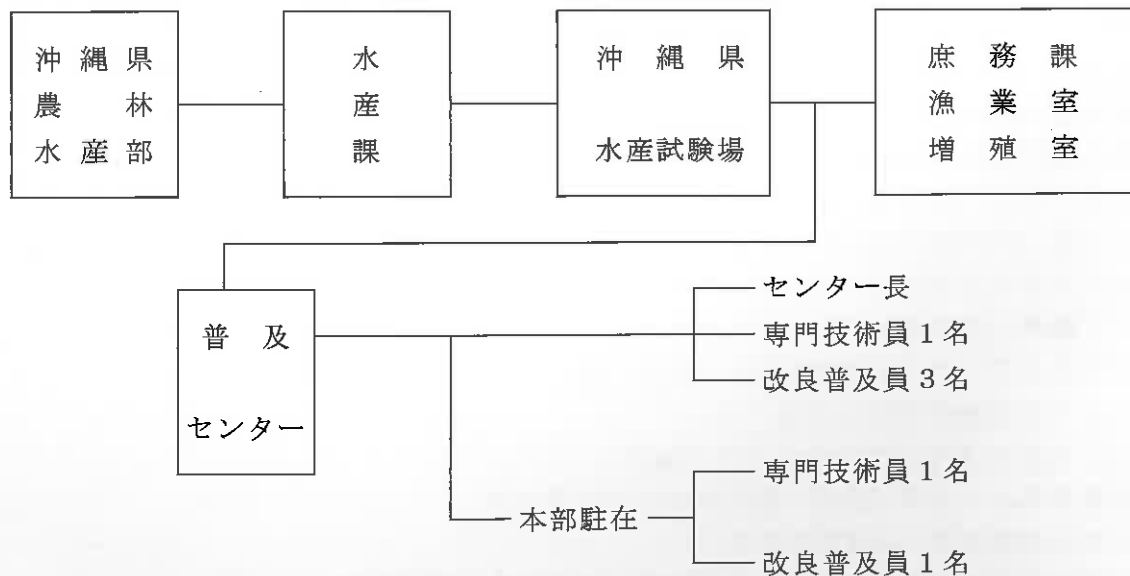


沿革

- 昭和47年 5月 当初各市町村に水産技術員が置かれていたが本土復帰と同時に水産庁より水産業改良普及制度が導入され、水産業専門技術員が2人、水産業改良普及員が沖縄本島に8人（駐在：水産試験場）、宮古に3人（駐在：宮古支庁農林水産課）、八重山に2人（駐在：八重山支庁農林水産課）配置された。
- 昭和50年 3月 糸満市西崎町に庁舎新築、名称が漁業者センターとなり普及員が駐在。
- 昭和55年 4月 漁業者センターを「かい」に指定。所長は専技兼務。
- 昭和57年 4月 水産業専門技術員2人、水産業改良普及員10人となり、限定員となる。
- 昭和60年 4月 組織改正により「漁業者センター」から「沖縄県水産業改良普及所」に名称変更。
- 昭和60年12月 増築により実習室兼展示室、図書室、事務室が完成現在に至る。
- 平成6年 4月 水産業改良普及所・本部駐在設置。専技1名、普及員1名を配置。
- 平成13年 4月 組織改正により沖縄県水産試験場と統合、沖縄県水産試験場普及センターに名称変更

組織



宮古支庁農林水産振興課 ▲水産業改良普及員 2名
 八重山支庁農林水産振興課 ▲水産業改良普及員 2名

水産業普及組織区域担当

本部駐在 北部地区担当 専門技術員 大城信弘

伊是名村 恩納村
 国頭村 東村
 宜野座村 今帰仁村
 金武町

改良普及員 牧野清人

伊平屋村 名護市
 伊江村 大宜味村
 本部町

中南部地区担当 センター長 瀬底正武

豊見城市 玉城村
 佐敷町 中城村
 北中城村

専門技術員 與那嶺盛次

具志川市 北谷町
 宜野湾市 浦添市
 渡嘉敷村 糸満市

改良普及員 山田真之

沖縄市 南大東村
 知念村 北大東村
 勝連町 渡名喜村

改良普及員 城間一仁

読谷村 嘉手納町
 西原町 与那原町
 粟国村 久米島町

改良普及員 小澤明子

石川市 与那城町
 那覇市 具志頭村
 座間味村

宮古地区担当 改良普及員 本永文彦
 石川貴宣

平良市 伊良部町
 上野村 下地町
 城辺町 多良間村

八重山地区担当 改良普及員 安井理奈
 紫波俊介

石垣市 与那国町
 竹富町